

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で15ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

I

次の文章A～Cを読んで、後の問に答えなさい。

A 弥生時代には、死者は集落の近くの共同墓地に葬られ、土壙墓や木棺墓、箱式石棺墓などが埋葬施設として用いられた。弥生時代中期には、福岡県須玖岡本遺跡の ^(a) のように、青銅製の武器や鏡などおびただしい副葬品をともなうものもあらわれ、後期には岡山県倉敷市の のように大型の墳丘墓が各地に築かれた。

3世紀中頃から後半になると、前方後円墳と呼ばれる大規模な墳丘をもつ古墳が、西日本を中心に展開するようになる。出現期の古墳の多くは、墳形や埋葬施設の構造、副葬品などに共通性をもっており、大和を中心とした近畿地方にとくに大規模な古墳が集中している。古墳時代中期の5世紀頃には、墳丘の長さが400mを越える ^(b) などの巨大な古墳も築かれた。

その後、前方後円墳は7世紀には築かれなくなり、^(c) 6世紀に爆発的に増加した の造営も低調となっていった。東日本の一部ではおそくまで古墳の造営が続く地域もあったが、8世紀にはほぼ消滅した。

問1 空欄 に入る語句として最も適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① ア 再葬墓 イ 四隅突出型墳丘墓
- ② ア 再葬墓 イ 楯築墳丘墓
- ③ ア 甕棺墓 イ 四隅突出型墳丘墓
- ④ ア 甕棺墓 イ 楯築墳丘墓

問 5 下線部(b)の時代の出来事として適切ではないものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 5)。

- ① 『宋書』倭国伝に記された倭の五王が、あいついで中国の南朝に朝貢した。
- ② 倭国王帥升等が、生口160人を後漢の安帝に献上した。
- ③ 新羅と結び筑紫国造磐井が大規模な戦乱をおこした。
- ④ 百済から五経博士や医・易・暦の諸博士が渡来し、様々な思想、知識を伝えた。

問 6 下線部(c)に関連し、エが増加した背景を述べた文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 6)。

- Ⅰ 台頭してきた有力農民層が古墳を造営するようになったと考えられる。
- Ⅱ ヤマト政権が崩壊したことにより、首長層がより多くの古墳を築造できるようになったと考えられる。

- ① Ⅰ 正 Ⅱ 正
- ② Ⅰ 正 Ⅱ 誤
- ③ Ⅰ 誤 Ⅱ 正
- ④ Ⅰ 誤 Ⅱ 誤

B 律令国家は、律令制による支配が及んでいなかった東北地方や南九州にも、領土の拡大をはかった。東北経営においては、出羽国のオ、陸奥国の多賀城といった城柵が築かれ、政治や蝦夷政策の拠点となった。また、南九州においては、8世紀初めに薩摩国ついでカを設置するなどして、あと呼ばれた人々に対する支配を強化していった。律令国家の進出に(d)対して、蝦夷やあはたびたび反乱を起こしており、政府が軍を派遣して鎮圧することもあった。

問 7 空欄 にあてはまる語句を漢字 2 文字で記しなさい。解答用紙(その 2)を用いること。

問 8 空欄 にあてはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④から 1 つ選び、マークしなさい。解答用紙(その 1)を用いること(解答番号)。

- ① オ 胆沢城 カ 大隅国 ② オ 胆沢城 カ 日向国
③ オ 秋田城 カ 大隅国 ④ オ 秋田城 カ 日向国

問 9 下線部(d)に関連する記述として適切ではないものを、次の①～④から 1 つ選び、マークしなさい。解答用紙(その 1)を用いること(解答番号)。

- ① 720(養老 4)年に大隅国司が殺害された際、政府は大伴旅人を大將軍とする大軍を派遣した。
② 740(天平 12)年、大宰府に派遣されていた藤原広嗣が挙兵したが、抵抗にあい敗死した。
③ 780(宝亀 11)年に伊治咎麻呂が乱を起こし、多賀城を焼いた。
④ 征夷大將軍に任じられた坂上田村麻呂は、802(延暦 21)年に蝦夷の族長阿弭流為を降伏させた。

問 10 桓武天皇は積極的に政治改革を進めるとともに、都づくりや蝦夷の支配に力を入れた。桓武天皇の在位期間に行われたこととして、適切ではないものを、次の①～④から 1 つ選び、マークしなさい。解答用紙(その 1)を用いること(解答番号)。

- ① 仏教政治の弊害を改め、天皇権力を強化するため、平城京から山背国の長岡京へ遷都した。
② 辺境以外の軍団と兵士を廃止し、郡司の子弟による健児を組織した。
③ 平安京内の治安を維持するために、檢非違使を設けた。
④ 勘解由使を設け、国司交替の事務ひきつぎを厳しく監督させた。

C 11世紀、開発領主の中には、国衙の圧迫や他の領主の干渉を退けるため、所領を中央の貴族や寺社に寄進し、その保護を仰ぐものもあらわれた。開発領主は下司などの荘官となり、所領を実質的に支配するとともに、寄進を受けた貴族や寺社は と呼ばれ、 が荘園の権利をより安定させるため、さらに上級の貴族や寺社に寄進して、 と仰ぐこともあった。こうして、寄進地系荘園が各地に広まった。

やがて、 や の権威を利用して、政府から租税が免除される の権を認められた荘園や、国衙の検田使の立ち入りを拒否する の権を得る荘園も多くなっていった。その結果、11世紀後半になると受領から中央に送られる税収が減少し、収入が不安定となった天皇家や摂関家・大寺社は積極的に寄進を受け、荘園はさらに拡大した。

問11 空欄 にあてはまる語句の組み合わせとして適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① キ 領 家 ク 本 家 ② キ 領 家 ク 名 主
③ キ 本 家 ク 領 家 ④ キ 本 家 ク 名 主

問12 空欄 にあてはまる語句の組み合わせとして適切なものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① ケ 不 輸 コ 免 田 ② ケ 不 入 コ 不 輸
③ ケ 免 田 コ 不 輸 ④ ケ 不 輸 コ 不 入

問13 文章Cに関連し、後三条天皇は、荘園の増加が公領を圧迫しているとして、1069(延久元年)年に を発した。

空欄 にあてはまる語句を、漢字5文字で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問14 1086(応徳3)年、白河天皇は堀河天皇に位をゆずり、みづからは上皇として御所に院庁を開き、本格的な院政をはじめた。その後、鳥羽上皇、後白河上皇と、上皇が国政の実権を握る時期が続いた。

この時期の出来事について述べた文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から1つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 12)。

Ⅰ 上皇は、直属の軍事力を組織するため、院の御所に北面の武士を置いた。

Ⅱ 一国の支配権と収益を上級貴族にあたえる知行国の制度が広まった。

① Ⅰ 正 Ⅱ 正

② Ⅰ 正 Ⅱ 誤

③ Ⅰ 誤 Ⅱ 正

④ Ⅰ 誤 Ⅱ 誤

Ⅱ 次のA・Bについて、後の問に答えなさい。

A 次の史料について下記の問1・問2に答えなさい。

「一、喧嘩の事、是非に及ばず成敗を加ふべし。但し、取り懸ると雖も、堪忍せしむるの輩に於ては、罪科に処すべからず。」(甲州法度之次第)

問1 上記の史料について、これを制定した戦国大名とかかわりのある事項を、下記の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 1560年尾張国において、3000人の軍勢で、2万5000人の今川軍を急襲し、今川義元の首をとった。
- ② 1570年近江国姉川で、浅井長政・朝倉義景と戦った。
- ③ 1572年遠江国三方ヶ原で徳川家康を破った。
- ④ 1584年尾張國小牧・長久手において、徳川家康と戦った。

問2 上記の史料のような、戦国大名が領国統治のために制定した法令をなんというか。漢字三文字で書きなさい。解答用紙(その2)を用いること。

B 次の史料1～3について、下記の問3～問14に答えなさい。

史料1 「一、文武 ノ道、専ラ相嗜ムベキ事。……
一、諸国ノ居城修補ヲ為スト雖モ、必ズ言上スベシ。況ンヤ新儀ノ構営堅ク停止令ムル事。……」(『御触書寛保集成』)

史料2 「一、大名・小名、在江戸交替、相定ル所也。毎歳夏 月中参勤致スベシ。従者ノ員数近来甚ダ多シ、且ハ国郡ノ費、且ハ人民ノ勞也。向後其ノ相応ヲ以テ、之ヲ減少スベシ。……

一、 石以上ノ船停止ノ事。」(『御触書寛保集成』)

史料3 「一、文武 を励し、礼儀を正すべき事。

.....

一、養子は同姓相応の者を撰び、若之無きにおゐては、由緒を正し、存生の内言上致すべし。五拾以上 以下の輩、末期に及び養子致すと雖も、吟味の上之を立つべし。縦、実子と雖も筋目違たる儀、之を立つべからざる事。附、殉死の儀、弥制禁せしむる事。】(『御触書寛保集成』)

問 3 空欄 に該当する語句を下記の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 弓馬 ② 忠孝 ③ 剣 ④ 忠臣

問 4 空欄 に該当する数字を下記の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 四 ② 五 ③ 六 ④ 七

問 5 空欄 に該当する数字を下記の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 三百 ② 五百 ③ 八百 ④ 千

問 6 空欄 に該当する語句を下記の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 弓馬 ② 忠孝 ③ 剣 ④ 忠臣

問 7 空欄 に該当する語句を下記の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 十五 ② 十六 ③ 十七 ④ 十八

問 8 史料 1・史料 2・史料 3 を発令したときの将軍の組み合わせとして正しいものはどれか、次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その 1)を用いること(解答番号 **19**)。

- ① 史料 1—家康, 史料 2—秀忠, 史料 3—家光
- ② 史料 1—秀忠, 史料 2—家光, 史料 3—家綱
- ③ 史料 1—家光, 史料 2—家綱, 史料 3—綱吉
- ④ 史料 1—秀忠, 史料 2—家光, 史料 3—綱吉

問 9 史料 1 の起草者は誰か。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その 1)を用いること(解答番号 **20**)。

- ① 金地院崇伝 ② 一休宗純 ③ 隠元隆琦 ④ 徳川光圀

問10 史料 1 と同じ年に出されたものはどれか。次の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その 1)を用いること(解答番号 **21**)。

- ① 一国一城令 ② 生類憐みの令
- ③ バテレン追放令 ④ 無二念打払令

問11 史料 2 の下線部アについて、次の記述の中から誤っているものを一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その 1)を用いること(解答番号 **22**)。

- ① 正式に江戸参勤が制度化され、諸大名は、江戸一年、在国一年と規定された。
- ② 交通が発達し、江戸が大都市として発展した。
- ③ 大名は、江戸に屋敷を構えて妻子をおき、多くの家臣をつれての往来が、大名にとって多大な経済負担となった。
- ④ 参勤交代は、天保の改革によって緩和された。

問12 史料3の下線部イに関連して、50歳未満の大名に末期養子の禁が緩和されるきっかけとなった事件を、下記の選択肢の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 23)。

- ① 赤穂事件
- ② 慶安の変
- ③ 大塩平八郎の乱
- ④ 宝暦事件

問13 史料3の下線部ウについて、次の記述の中から誤っているものを一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 24)。

- ① 四代徳川家綱は、殉死を禁止しなかった。
- ② 殉死の禁止によって、従者は主人個人ではなく、主家に奉公するという主従関係を明示することになった。
- ③ 殉死は追腹とも呼ばれた。
- ④ 三代徳川家光の死後、殉死者が相次いだ。

問14 史料3を発令した将軍のとき、側用人として活躍した人物は誰か。この人物が営んだ六義園は現存する大名庭園として有名である。この人物の名前を漢字四文字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

Ⅲ 以下の史料A・Bを読んで、後の問に答えなさい。

【史料A】

第一款 大日本国皇帝陛下ハ其ノ後胤ニ至ル迄、現今 島(即薩哈噠島)ノ一部ヲ所領スルノ権理及君主ニ属スル一切ノ権理ヲ、全魯西亜国皇帝陛下ニ譲リ、而今而後樺太全島ハ悉ク魯西亜帝国ニ属シ、^⑦「ラペルーズ」海峡ヲ以テ両国ノ境界トス。

第二款 全魯西亜国皇帝陛下ハ、第一款ニ記セル 島(即薩哈噠島)ノ権理ヲ受シ代トシテ、其後胤ニ至ル迄、現今所領^①「クリル」群島、即チ第一「シユムシユ」島、……第十八^②「ウルップ」島共計十八島ノ権理及ビ君主ニ属スル一切ノ権理ヲ大日本国皇帝陛下ニ譲リ、而今而後^①「クリル」全島ハ日本帝国ニ属シ、^{カムチャッカ}東察加地方「ラパツカ」岬ト「シユムシユ」島ノ間ナル海峡ヲ以テ両国ノ境界トス。……(『日本外交年表並主要文書』)

問 1 史料Aの空欄 にあてはまる語句(漢字二文字)を記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 2 史料Aの下線^①クリルに該当する日本での名称を漢字で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 3 史料Aによって、国境となった下線^⑦ラペルーズ海峡の日本での名称を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 宗谷海峡 ② 間宮海峡 ③ 根室海峡 ④ 津軽海峡

問 4 史料Aが締結された年に起こった出来事を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号)。

- ① 民撰議院設立建白書の提出 ② 地方三新法制定
③ 元老院・大審院設置 ④ 台湾出兵

問 5 史料Aを締結した時、空欄 a を管轄していた機関を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 27)。

- ① 北海道庁 ② 開拓使 ③ 内務省 ④ 拓殖務省

問 6 史料Aの条約に調印した日本の全権に関する説明で正しいものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 28)。

- ① 山口出身。大津事件の発生により外務大臣を退任した。
② 鹿児島出身。開拓長官をつとめた。
③ 鹿児島出身。蛮勇演説を行ったことで有名。
④ 幕臣、海軍奉行をつとめた。五稜郭で官軍と戦った。

問 7 史料Aの下線ウルップについて、この島以北をロシア領とした条約を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 29)。

- ① 北京条約 ② 日露協商
③ 日露和親条約 ④ ポーツマス条約

問 8 問7の条約に調印したロシアの全権を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 30)。

- ① ラクスマン ② ヴイッテ
③ ニコライ2世 ④ プチャーチン

【史料B】

帝国ハ現下ノ急迫セル情勢特ニ米英蘭等各国ノ執レル対日攻勢〔ソ〕連ノ情勢及
帝国国力ノ弾撥性等ニ鑑ミ「情勢ノ推移ニ伴フ帝国国策要綱」中、南方ニ対スル施
策ヲ左記ニ依リ遂行ス

一、帝国ハ自存自衛ヲ全フスル為対米(英蘭)戦争ヲ辞セサル決意ノ下ニ概ネ十月
下旬ヲ日途トシ戦争準備ヲ完整ス

二、帝国ハ右ニ並行シテ米、英ニ対シ外交ノ手段ヲ尽シテ帝国ノ要求貫徹ニ努
ム。……

三、前号外交交渉ニ依リ十月上旬頃ニ至ルモ尚我要求ヲ貫徹シ得ル日途ナキ場合
ニ於テハ直チニ対米(英蘭)開戦ヲ決意ス。对南方以外ノ施策ハ既定国策ニ基キ之
ヲ行ヒ特ニ米〔ソ〕ノ対日連合戦線ヲ結成セシメサルニ勉ム……(『日本外交年表並
主要文書』)

問9 史料Bは一般に何と呼ばれるか、その名称を漢字8文字で記しなさい。解
答用紙(その2)を用いること。

問10 史料Bの方針が決定された時の陸軍大臣の氏名を漢字で記しなさい。解答
用紙(その2)を用いること。

問11 史料Bの方針を決めた会議の名称を、次の選択肢の中から一つ選び、マー
クしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 31)。

- | | |
|---------|--------|
| ① 枢密院会議 | ② 帝国議會 |
| ③ 閣議 | ④ 御前會議 |

問12 史料Bの方針を決定した内閣を、次の選択肢の中から一つ選び、マー
クしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 32)。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 第2次近衛文麿内閣 | ② 第3次近衛文麿内閣 |
| ③ 広田弘毅内閣 | ④ 平沼騏一郎内閣 |

問13 史料B中の下線^㊸米英蘭等各国ノ執レル対日攻勢は、いわゆる「A B C D包圍陣」による経済封鎖を意味するが、その経済封鎖に含まれるものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 **33**)。

- ① 米国による対日石油禁輸
- ② 日英同盟の破棄
- ③ 単一為替レートの設定
- ④ 「封じ込め」政策(トルーマン=ドクトリン)の実施

問14 史料B中に記されている^㊹帝国国策要綱は、史料Bの二ヶ月前に出されたものであるが、この「帝国国策要綱」で決定された対外政策で正しいものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 **34**)。

- ① 華北分離工作
- ② 北部仏印進駐
- ③ 満州国建国
- ④ 南部仏印進駐

問15 また、同じく^㊺帝国国策要綱で、決定された対外政策の中に、対ソ戦の準備があるが、この決定を受けて実施に動いたものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 **35**)。

- ① 北清事変
- ② 関東軍特種演習
- ③ 日独伊防共協定の締結
- ④ ノモンハン事件

問16 史料B中の下線^㊻外交ノ手段ヲ尽シテと表現されている対米交渉について、交渉に従事した駐米大使の名前を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 **36**)。

- ① 松岡洋右
- ② 野村吉三郎
- ③ 有田八郎
- ④ 幣原喜重郎

問17 史料B中の下線対米(英蘭)開戦[㊦]に関連して、開戦の日に行われた陸軍の軍事行動を、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 37)。

- ① 三光作戦
- ② マレー半島上陸作戦
- ③ ガダルカナル島上陸作戦
- ④ インパール作戦

問18 また、下線対米(英蘭)開戦[㊦]に関連して、開戦を決意する重要な意味を持ったアメリカからの最終提案に含まれていないものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること(解答番号 38)。

- ① 中国・仏印からの撤兵
- ② 汪兆銘政権の否認
- ③ 三国同盟の破棄
- ④ 朝鮮半島支配の解消